

が必要と考えるがどうか。

【高齢者】介護報酬改定で引き下げられた分との差額給付は考えていない。区としては、介護保険制度の抜本的改革により、サービスの実態に即した適切な介護報酬を設定するよう特別区長会や全国市長会を通じて国に強く要望すると共に、引き続き介護事業者の効率的な運営への支援や介護人材の確保・定着の支援策に取り組んでいく。

【問】豊島区の「ジャンプ東池袋」を参考に児童厚生職員が常駐する「好きなこと、やりたいこと」や「夢」を実現でき、意見を述べる場となるような場所を足立区でもつくってはどうか。

【未来】子どもの意思や意見が尊重され、やりたいことが実現できる場をつくることは必要であると考えている。「アダチ若者会議」を通じて中学生に直接意見を聴くと共に、他区の先進事例について情報収集していく。

区民が納得するまちづくりを

【問】旧こども家庭支援センター跡地の利用について、区民要望の強い図書館建設には背を向け、公有地を提供し民間マンション建設を進めることに区民の理解を得られると思うのか、伺う。

【資産活用】図書館をつくらないことは地元説明会等で説明し、一定の理解は得られている。民間マンションは民間事業者が事業採算上、公募で提案する可能性があるが、区民が求める「ホール」「にぎわい施設」「本も読める憩いの場」を整備予定であり、マンションの有無に関わらず理解が得られると考えている。

不登校対策には「忙しい学校」の解消が必要だ！



日本共産党 小林 ともよ 議員



子どもの心のSOSに向き合え

【問】不登校の子どもには心の傷への理解と休息や回復の保障が必要である。不登校支援ポイントサイトの冒頭では、登校刺激となり得る支援メニューを並べるのではなく、保護者や子どもを安心させる言葉が詰まった「登校支援ガイド」を表示すると共に、共通認識を持てるよう周知すべきと思うがどうか。



是々非々の会（維新・参政・無所属）

税金が夜空に散る 足立の

花火は都内最大の税金依存



是々非々の会 へんみ 圭 二 議員



真に誇れるイベントへ構造改革を

【問】2年連続で中止となった「足立の花火」は、財政構造と運営上の課題が顕在化している。今年度は打上発数1万4千発、総費用約3億6千万円のうち区負担は91%、協賛金や有料席収入はわずかで、中止時の保険金も支出の1.14%であった。他区と比べても、足立区は予算規模最大・区民負担最大・収益最小という異常な構造であり、財政設計に失敗している。安全面・財政面・運営面の全てをゼロベースで見直す覚悟が必要である。

①足立の花火が突出して税金に依存している原因と、有料席の拡大やふるさと納税の活用以外

的に実施しており、結果として税金に依存することとなった。

依存割合の低減や近年の費用増に対応するため、有料席の拡大を進めてきたが、それ以外の収入増の施策は実施していない。

②近隣自治体や保険代理店へのヒアリングでは明確な理由は判明しておらず、今後更に範囲を拡大して確認していく。

また、来年度の実施に向け、費用損害型保険の加入を費用対効果を踏まえ、検討する。

③他花火大会等の先行事例の調査や近隣自治体へのヒアリング等を行い、収入増や経費削減策を区で導入した場合の費用対効果を検討する。その結果、協賛・有料席・寄附制度等を拡充する際は、数値目標や期限を観光交流協会の評議員会に提案する。

都民ファースト・無所属の会

千住地域から広がる

子育てしやすい街づくり



都ファ・無所属 中島こういちろう 議員



千住大川端地区のまちづくり

【問】千寿第八小学校では、千住大川端地区の開発に伴う教室不足を補うため、保育施設を転用する計画もあるが、保護者への丁寧な説明が必須である。今後も、地域住民の理解を得るための取り組みを更に強化すべきと考えるがどうか。

【千住地区】シミュレーションでは、教室不足が予測されるのは令和22年度からであるため、今後も定期的に需要予測を見直す。

足立区議会議会改革を全力で推し進める会

全ての人が安心して暮らせる、みんなにやさしい街へ



議会改革推進 長谷川 たかこ 議員



がん患者の豊かな人生のために

【問】区内外で活動しているがん体験者を区に紹介した結果、本年10月に「働くがん患者」の講演会が開催されることになった。今後は医療機関や企業、各種団体と連携し、がん患者・体験者及びその家族が語り合える場を設け、新たな支援施策の早期構築を強く要望するがどうか。



【選挙管理】今年度、出前授業

や模擬投票等の開催が予定されているが、今年度、もしくは来年度の開催に向けて働きかけを行い、毎年着実に実施するよう年間計画を立て取り組んでいく。

ないか。

【未来】「アダチ若者会議」にてニーズを聴き、関係部署との調整を図りながら、年度末を目途に若者が主体的に取り組める場づくりについて検討していく。

児童保育の連絡帳をデジタルへ

【問】児童保育室にデジタル連絡ツール等を導入することで、保護者との連絡や緊急対応の円滑化が可能となるため、児童保育室でのICT活用を更に促進すべきと考えるがどうか。

【子ども】来年度より、区立児童保育室へ入退室管理等を行うシステムを導入する予定である。また、ICT未活用の民設児童保育室に対し、業務支援システム等の活用を促していく。



【衛生】現在、乳がん体験者を中心に「がん治療と仕事の両立」をテーマとした新たなピアサポートグループの創設を進めている。